

【審判上の注意事項】

大会審判委員長

本大会は、2025年度（公財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。

- 1 トスは、両チームのチームキャプテンが立ち合い、試合開始11分前に行う。
- 2 公式練習は、各チーム3分間とする。ただし、両チーム合同で行う場合は、6分間とする。
- 3 公式練習は、エントリーされたメンバー以外は認められない。
- 4 全試合、ワンボールシステムで行うので、ボールデッドになったときは、ボールは速やかに相手チームのサーバーに送る。
- 5 監督は、フリーゾーン内ならば一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えてもよい。ただし、サービス許可の吹笛後は、速やかにベンチに着席し、ラリー中は座っておかなければならない。また、記録席に最も近い位置に着席すること。
- 6 フロアモッピングは、コート内の選手が行うことを原則とし、試合中、コート内の選手はワイピング用のタオルを身につけ、汗で濡れた場合、コート内の選手が拭くこと。ただし、当該レフェリーの指示によりベンチの交代競技者がモップを使用することがある（選手やベンチスタッフが、モップの要求を当該レフェリーにすることは、遅延行為の対象となることがある）。
- 7 監督・コーチ・マネージャーは、所定の記章を左胸部につけてベンチに入ること。また、チームスタッフの服装は統一されたものであること。ただし、T シャツ・短パン・キュロットでのベンチ入りは認められない（児童がマネージャーの場合は、この限りではない）。
- 8 監督及びチームキャプテンは、公式練習前に記録用紙にサインすること。なお、チームキャプテンは、試合終了後も速やかに記録用紙にサインすること。
- 9 タイムアウトの要求には、必ず公式ハンドシグナルを用いること。また、選手交代については、交代選手がサブスティチューションゾーンに入り、レフェリーの指示に従い、片手をあげ速やかに交代を行うこと。
- 10 ラリー中の交代選手は、ベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること。
- 11 テクニカルタイムアウト（1・2セット目11点、3セット目8点）の際、選手が給水できるように準備をすること、給水はベンチとウォーミングアップエリアの間で行う、この間ウォームアップはできない。ベンチスタッフから選手へ健康観察のための声かけは認められる。テクニカルタイムアウト中、ベンチスタッフ（大人）がフロアモッピングを行うことができる。
- 12 デュースが続く場合のテクニカルタイムアウトは、第1・第2セット目では両チームが31点に達したときに適用し、その後は両チームが10点ずつ積み重ねた段階で適用する。3セット目では両チームが21点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- 13 大会期間中の予選グループ戦（大会1日目）及び3・4位トーナメント（大会2日目）のスコアラー・ラインジャッジ・点示員は、割当てられたチームで行う。決勝トーナメント（大会2日目）のスコアラー・ラインジャッジ・点示員は、福岡県内小学生バレーボールチーム所属の選手で行う。